

CA Asset Portfolio Management

リリース ノート

リリース 12.9.00



このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により隨時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けて本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、默示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルセットで参照されている CA Technologies 製品は、以下のとおりです。

- CA Asset Converter
- CA Asset Portfolio Management (CA APM)
- CA Business Intelligence
- CA Client Automation
 - (旧称 : CA IT Client Manager)
- CA Configuration Management Database (CA CMDB)
- CA Embedded Entitlements Manager (CA EEM)
- CA 管理データベース (CA MDB)
- CA Process Automation™
- CA Service Catalog
- CA Service Desk Manager
- CA Software Asset Manager (CA SAM)
- CA SiteMinder®

このドキュメントセットには、以下のコンポーネントについての記述もあります。
このコンポーネントには以前は別の名前が使用されていました。

- Common Asset Viewer
 - (以前のアセット管理システム (AMS))

CAへの連絡先

テクニカルサポートの詳細については、弊社テクニカルサポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: Welcome	7
このドキュメントの目的	7
各国語のサポート	7
発行済みの修正プログラム	8
製品ロードマップ情報の検索	8
第 2 章: 強化された機能と削除された機能	11
強化された機能	11
インストール	12
アセット モデルの変更	12
モデルアセットファミリの変更	12
Data Importer	13
データ同期	14
コストと支払い	14
カスタム関係	15
設定操作性の向上	15
製品提供のユーザ役割	16
サブグループ アセット	16
共通ホーム ページ	17
マイグレーション	17
FIPS 準拠	17
削除された機能	18
第 3 章: ドキュメント/マニュアル	19
マニュアルの変更点	19
CA Technologies マニュアル選択メニューの表示	20
マニュアルの検索場所	20
PDF の表示方法と検索方法	21
第 4 章: システム情報	23
オペレーティング システム、データベース、および Web ブラウザ	23
システム要件	25
Web サーバ	25

データベース サーバ	25
アプリケーション サーバ	25
追加製品の要件	26
インストールする追加製品	26
必要なその他の製品	26
サポートされるその他の製品および標準	27
CA Technologies 製品統合パッチの要件	28
第 5 章: 既知の問題	29
付録 A: アクセシビリティ機能	31
製品の機能拡張	31
付録 B: サード パーティ製品の使用条件	35

第1章: Welcome

CA APM リリース 12.9 をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[このドキュメントの目的 \(P. 7\)](#)

[各国語のサポート \(P. 7\)](#)

[発行済みの修正プログラム \(P. 8\)](#)

[製品ロードマップ情報の検索 \(P. 8\)](#)

このドキュメントの目的

このドキュメントは、CA APM に対する新規の、拡張された、および削除された機能、ドキュメント、およびシステム要件に関する情報を提供しています。

注: 公開の時点では、この製品は、このドキュメントに記載されているシステムおよび動作環境をサポートしています。システムと動作環境の最新のリストは、CA サポートオンラインの [互換性マトリックス](#) で公開されています。

各国語のサポート

国際化製品とは、必要とされるローカル言語版のオペレーティングシステムおよびサードパーティ製品上で正常に動作し、データの入出力においてローカル言語のデータをサポートする、英語版の製品です。また、国際化製品は、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語の書式をサポートします。

翻訳済み製品（ローカライズ済み製品とも言います）とは、製品のユーザインターフェース、オンラインヘルプ、その他のマニュアルのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

CA APM の英語版リリース以外に、CA では以下の表に示す言語のみサポートしています。

オブジェクト連絡先	国際化	翻訳済み (Post-GA)
ポルトガル語（ブラジル）	○	○
フランス語	○	○

オブジェクト連絡先	国際化	翻訳済み(Post-GA)
ドイツ語	○	○
イタリア語	○	○
日本語	○	○
スペイン語	○	○

発行済みの修正プログラム

CA APM のすべての発行済みの修正プログラムを確認するには、CA サポートオンラインの [\[CA Asset Portfolio Management ソリューションおよびパッチ\]](#) ページを参照してください。

製品ロードマップ情報の検索

CA IT Asset Manager の製品ロードマップは、製品の全般的な方向性の概要を示し、アセット管理実装の計画および管理に役立つ情報を提供します。たとえば、製品ロードマップは以下の情報を提供します。

- 計画されている機能
- 廃止された機能
- 国際化とローカライゼーション
- 製品の方向性

CA IT Asset Manager の製品ロードマップを表示する方法

1. ブラウザを開いて、<http://ca.com/jp/support> に移動します。
CA のサポートページが表示されます。
2. [Product finder] ドロップダウンリストから、[CA IT Asset Manager] を選択します。

CA IT Asset Manager ページが表示されます。

3. [Product Status] セクションにスクロールし、[CA IT Asset Manager Product Roadmap] リンクをクリックします。

ログインしていない場合は、CA Support のログイン ページが表示されます。

4. CA Support にログインします。

CA IT Asset Manager Product Roadmap が表示されます。

第2章：強化された機能と削除された機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

- [強化された機能 \(P. 11\)](#)
- [削除された機能 \(P. 18\)](#)

強化された機能

このリリースでは、以下の機能が強化されています。

- [インストール \(P. 12\)](#)
- [アセットモデルの変更 \(P. 12\)](#)
- [モデルアセットファミリの変更 \(P. 12\)](#)
- [Data Importer \(P. 13\)](#)
- [データ同期 \(P. 14\)](#)
- [コストと支払い \(P. 14\)](#)
- [カスタム関係 \(P. 15\)](#)
- [設定操作性の向上 \(P. 15\)](#)
- [製品提供のユーザ役割 \(P. 16\)](#)
- [サブグループアセット \(P. 16\)](#)
- [共通ホームページ \(P. 17\)](#)
- [マイグレーション \(P. 17\)](#)
- [FIPS 準拠 \(P. 17\)](#)

インストール

インストール プロセスでは以下の点が向上しました。

- インストールの簡略化 – すべての製品コンポーネントをインストールおよび設定するための単一のインストール プロセスを実行する新しいインストール ウィザードを提供します。
- 再試行と修復 – 中断したインストールを再開することができます。また、完了したインストールの問題を修正することもできます。

詳細については、「実装ガイド」を参照してください。

アセット モデルの変更

選択したアセットのモデルを変更できます。たとえば、サーバ モデルが正しくない製品に入力された 15 のアセットを識別したとします。すべての選択されたアセットのサーバ モデルを同時に検索および変更できます。

アセットのモデルを変更する方法の詳細については、「ユーザ ガイド」を参照してください。

モデル アセット ファミリの変更

選択されたモデルのアセット ファミリを変更できます。たとえば、一連の関連するコンピュータ モデルが、ハードウェア アセット ファミリを使用して製品に誤ってインポートされたとします。すべての選択されたモデルのアセット ファミリを同時に変更できます。

注: モデルのアセット ファミリを変更すると、関連付けられたアセットのアセット ファミリも変更されます。

モデルのアセット ファミリを変更する方法の詳細については、「ユーザ ガイド」を参照してください。

Data Importer

製品データのインポート関数は以下の方法で拡張されました。

- **Data Importer Web クライアント**
 - ソースフィールドのロード - ソースデータファイルからインポートマッピングにすべてのソースフィールドを追加します。既存のマッピングがある場合、[ソースフィールドのロード] をクリックすると、これらのマッピングをソースデータファイルのソースフィールドに置換できます。[ソースフィールドのロード] を使用すると、マッピングがないソースデータファイルからソースフィールドを追加することもできます。
 - スケジュール詳細の表示 - スケジュールされた作成済みのインポートジョブのスケジュール詳細を表示します。
 - ログを表示 - 完了したインポートの詳細を参照するための Data Importer ログファイルを表示します。Data Importer は、実行する各インポートのログファイルを作成します。これには、すぐにサブミットされたインポートと、将来実行されるようにスケジュールされたインポートが含まれます。すべてのインポートアクティビティはログファイルに保存されます。複数のログファイルが使用可能な場合（たとえばスケジュールされたインポートがすでに数回完了している場合）、すべてのファイルはそれらの対応する作成日とともにリスト表示されます。
- コマンドラインを使用した Data Importer - データインポートをサブミットし、コマンドラインを実行して、サブミットされたインポートジョブのステータスを確認します。
- プロセスワークフローを使用した Data Importer - CA Process Automation または別のワークフロープロバイダを使用し、データインポートをビジネスプロセスワークフロー全体の一部としてサブミットします。
- 製品提供のデータインポート - データをインポートする場合、すでにすべてのマッピングと設定を含んでいる一連の事前定義済みデータインポートを使用します。これらのインポートは、データ管理を開始するのに役立ちます。製品提供されたデータインポートではマッピングと設定を変更できません。ただし、インポートをコピーし、コピーを変更することはできます。

Data Importer を使用してデータをインポートまたは削除する方法の詳細については、「管理ガイド」および「実装ガイド」を参照してください。

データ同期

CA SAM と CA APM を実装するとき、この 2 つの製品はハードウェアおよびソフトウェアアセット管理に必要なデータを共有します。データおよびアセット管理プロセスの統合性を維持するため、データを同期する必要があります。データ同期は、この 2 つの製品の中にある同じオブジェクトに同じデータ値が含まれることを確認します。データ同期は以下の方法で拡張されました。

- データ同期の設定 – ビジネスニーズに合わせて、CA APM および CA SAM データの自動データ同期を設定できます。同期されるオブジェクトのタイプおよび属性を設定できます。また、同期の対象となるデータ行を選択するために使用する基準を設定できます。
- CA APM データと既存の CA SAM インスタンスの同期 – CA APM を CA SAM の既存のインスタンスを使用して実装している場合は、まだ同期されていない既存の CA SAM データがあります。自動同期プロセスを開始する前に、既存の CA SAM データを CA APM データに同期します。詳細については、CA サポートの [CA SAM 製品ページ](#) にある推奨記事、「How to Synchronize CA APM Data with an existing CA SAM Instance」を参照してください。

データ同期の詳細については、「実装ガイド」を参照してください。

コストと支払い

アセットやリーガルドキュメントに関連付けられた財務情報を追跡することができます。コストと支払いを追跡することで、ベンダーやサプライヤへの過払いや支払い漏れのリスクを減らすことができます。また、将来の機器購入や展開に関する決定の際にも、これらの情報が役立ちます。

アセットやリーガルドキュメントのコスト関連情報を追跡する以外にも、支払いレコードとコストレコードを使用して、支払いスケジュールを作成することができます。スケジュールは、タイムリーな支払いや、過払いリスクの軽減に役立ちます。

コストおよび支払いの拡張フィールドを定義できます。また、リーガルドキュメントのコストに、アセットコストに対して作成した拡張フィールドを追加できます。

コストおよび支払いの詳細については、「ユーザガイド」および「管理ガイド」を参照してください。

カスタム関係

カスタム関係は2つの関連するオブジェクト間のリンクです。関係は、オブジェクト間の相互依存に関する情報を記述し提供します。カスタム関係によって、1つのオブジェクトから別のオブジェクトに移動できます。オブジェクトに関する情報を見つけ、取得し、変更できます。

カスタム関係を作成する方法の詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

設定操作性の向上

製品の設定は以下の方法で拡張されました。

- すべてのファミリに対する設定 - グローバル レベルと役割レベルの両方で、すべてのアセットファミリまたはリーガルテンプレートを対象にした設定を作成することができます。この拡張機能によって、設定の数を最小化し、設定をより管理しやすくすることができます。
- アセットファミリの除外 - アセットファミリを除外して、ユーザが使用できないようにすることができます。アセットファミリを除外すると、モデルを作成または変更するユーザはそのアセットファミリを選択できません。また、除外されたアセットファミリは、フィルタ、データインポートまたは設定の管理に使用することはできません。たとえば、製品が **CA Service Desk Manager** に統合されると、**CA Service Desk Manager** のアセットファミリは **CA APM** ユーザにも使用可能になります。**CA Service Desk Manager** アセットファミリを必要としない場合は、それらを除外してユーザが使用できないようにすることができます。

製品の設定については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

製品提供のユーザ役割

製品はシステム管理者の役割を提供します。この役割にはすべてのオブジェクトおよびテナントデータに対する完全なコントロールおよびアクセス権が付与されています。また、製品はユーザを管理するのに役立つ以下の事前定義済みユーザ役割を提供します。

- CA APM - アセット技術者
- CA APM - 契約管理者
- CA APM - デフォルト ユーザ
- CA APM - 実行者
- CA APM - 受理

ユーザ役割の詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

サブグループ アセット

アセット グループとは、同時に取得され、同じモデルをベースにしているアセットのグループです。1つのアセット レコード内にアセット グループを1つ定義できます。本製品では、追跡は、個々のアセットではなく、グループ全体のアセット情報に対して実行されます。アセット グループのすべてのメンバは、アセット情報を共有します。

グループ内のアセットを個別に管理する場合に、アセット グループを独立したアセットに分割できます。アセット グループをサブグループ化する場合、製品はグループからアセットを削除し（グループ数を減少させる）、1つの新しいアセットまたは複数の新しいアセットのいずれかを作成します（基準に応じて）。グループの情報が新規アセットにコピーされます。ただし、シリアル番号、代替アセット ID、ホスト名、DNS 名、および MAC アドレスを除きます。

アセットのサブグループ化の詳細については、「[ユーザガイド](#)」を参照してください。

共通ホーム ページ

CA APM および CA SAM の両方の機能にアクセスするための単一の Web ベース ホーム ページを提供する共通ホーム ページは、シングル サインオンにより拡張されました。シングル サインオンにより、ログインせずに共通ホーム ページから CA SAM にアクセスすることを可能にするパラメータを設定できます。シングル サインオンでは、CA APM と CA SAM でユーザが一致する必要があります。

共通ホーム ページのシングル サインオンの詳細については、「[管理ガイド](#)」を参照してください。

マイグレーション

CA APM データを リリース 11.3.4 から リリース 12.9 に移動するには、データマイグレーションを使用します。まず リリース 12.9 をインストールします。インストールの最後に、CA 管理データベース (CA MDB) 構造が更新され、データのマイグレーションが要求されます。データマイグレーションでは、データベース内のデータが古いデータベース構造から新しいデータベース構造に移行されます。

このリリースでは、リリース 12.8 でマイグレートされなかったオブジェクトをマイグレートできます。これらのオブジェクトには、コストと支払いの拡張および監査、カスタム関係と監査、および関係の拡張および監査があります。このリリースでは、カスタム関係および製品提供されなかった関係を含むすべての関係がマイグレートされます。以前リリース 11.3.4 からデータをマイグレートした場合は、これらのオブジェクトのデータのみをマイグレートできます。再度完全なデータマイグレーションを実行する必要はありません。

マイグレーションの詳細については、「[実装ガイド](#)」を参照してください。

FIPS 準拠

FIPS (連邦情報処理標準) パブリケーション 140-2 (FIPS PUB 140-2) は、暗号のモジュールを認証する米国政府のコンピュータ セキュリティ標準です。この標準は、米国国立標準技術研究所 (NIST) によって発行、管理されています。CA APM は、FIPS 準拠の暗号化技法をサポートしています。CA APM は、Microsoft .NET Framework および Triple-DES (証明書 ID 1409) の使用を通じて FIPS 140-2 に準拠しています。これらのアプリケーションは FIPS 準拠のアルゴリズムを使用します。CA APM は、CA APM サーバから、および CA EEM サーバからも FIPS を有効にします。

削除された機能

以下の機能は、このリリースから削除されました。

- ユーザ役割のコピーができなくなりました。

第3章: ドキュメント/マニュアル

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[マニュアルの変更点 \(P. 19\)](#)

[CA Technologies マニュアル選択メニューの表示 \(P. 20\)](#)

マニュアルの変更点

製品ドキュメントが更新され、リリース変更が組み込まれ、情報をより速く検索できるようになりました。役割ベースのドキュメントシナリオが追加されました。

- ユーザガイド
 - アセットモデルの変更
 - モデルアセットファミリの変更
 - コストと支払い
 - サブグループアセット
- 管理ガイド
 - 設定操作性の拡張機能
 - Data Importer Web クライアントの拡張機能
 - コマンドラインによる Data Importer (シナリオ)
 - ワークフローによる Data Importer (シナリオ)
 - 製品提供のインポートによる Data Importer
 - 製品提供のユーザ役割
 - 共通ホームページのシングルサインオン
 - カスタム関係
- 実装ガイド
 - 新しいインストール ウィザード
 - マイグレーション拡張機能
 - CA APM および CA SAM のデータ同期拡張機能
 - Data Importer と CA Process Automation の統合
- 既知の問題は、CA サポートオンライン上の [CA APM 製品ページ](#) から参照できるようになりました。

- CA IT Asset Manager Cookbook

- 選択された CA IT Asset Manager の技術的な内容は、モバイルデバイス プラットフォームの **Flipboard** で利用できます。[このビデオをご視聴いただき](#)、Cookbook をご利用ください。楽しいフリッピングを。
- RSS フィード フォルダに CA IT Asset Manager Cookbook を追加するには、以下の URL を追加します。
<http://cookbooks.ca.com/caitam/?feed=rss2>
- モバイル アプリケーションを使用する代わりに、ブラウザで CA IT Asset Manager Cookbook を表示するには、以下の URL にアクセスします。
<https://flipboard.com/section/ca-it-asset-manager-cookbook-bfWkzo>

CA Technologies マニュアル選択メニューの表示

CA Technologies マニュアル選択メニューでは、Section 508 準拠 HTML フォーマットの製品 ドキュメント セットと、その印刷版が提供されます。CA Technologies マニュアル選択メニューは製品と共に自動的にインストールされ、製品の [マニュアル選択メニュー] リンクをクリックしてアクセスできます。

注: お使いの製品向けの CA Technologies マニュアル選択メニュー (ZIP ファイル) は、CA サポート オンラインからダウンロードして解凍することもできます。

ZIP ファイルを解凍して CA Technologies マニュアル選択メニューを表示する方法

1. WinZip などのアーカイブ製品を使用します。
2. コンテンツをローカル フォルダに抽出します。
3. マニュアル選択メニュー フォルダにある Bookshelf.html ファイルをダブルクリックします。

CA Technologies マニュアル選択メニューが表示され、ここから製品のマニュアルを表示および検索できます。

マニュアルの検索場所

CA APM のマニュアルには、以下の場所でアクセスできます。

- 製品内の [マニュアル選択メニュー] リンクをクリック。
- インストール メディア上の Doc ディレクトリ。 Bookshelf.html をダブルクリック。
- テクニカル サポート (<http://ca.com/jp/support>) 。

PDF の表示方法と検索方法

PDF ファイルを表示するには、Adobe の Web サイトから Adobe Reader をダウンロードしてインストールします（コンピュータにまだインストールされていない場合）。

CA Technologies マニュアル選択メニュー内で Adobe Reader で PDF ファイルを開き、検索する場合、個々の PDF ファイルが検索され、検索語に一致した個々の結果が表示されます。

第 4 章: システム情報

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[オペレーティング システム、データベース、および Web ブラウザ \(P. 23\)](#)

[システム要件 \(P. 25\)](#)

[追加製品の要件 \(P. 26\)](#)

[CA Technologies 製品統合パッチの要件 \(P. 28\)](#)

オペレーティング システム、データベース、および Web ブラウザ

この製品は、以下のオペレーティング システム、データベース管理システム、および Web ブラウザをサポートしています。CA Technologies は、(製造元が定める) コンポーネントのライフサイクル期間中、または CA Technologies がサポートの中止を決定するまで、各コンポーネントをサポートします。

注: 公開の時点では、この製品は、このドキュメントに記載されているシステムおよび動作環境をサポートしています。システムと動作環境の最新のリストは、CA サポート オンラインの [互換性マトリックス](#)で公開されています。

注: CA Business Intelligence のインストールは Windows オペレーティング環境に限定されています。ただし、この製品がサポートされているオペレーティング システム上であればどれでも、CA Business Intelligence を製品に統合できます。

Web サーバ/アプリケーション サーバ オペレーティング システム(OS)

- Windows Server 2008 Standard および Enterprise Edition R2 x64
- Windows Server 2008 Standard および Enterprise Edition SP2 x64
- Windows Server 2012 Standard Edition (x64)

注: これらの Windows Server バージョンは互換性を確保するための最小 レベルです。同じメジャー リリース レベルの後続のサービス パックもサポートされています。

注: CA APM リリース 11.3.4 からマイグレートし、Windows Server 2003 を使用している場合、最初に Windows Server 2008 にアップグレードしてください。

データベース/OS オペレーティング環境

- Microsoft SQL Server 2008 SP2 Standard および Enterprise Edition x64
- Microsoft SQL Server 2008 R2 Standard および Enterprise Edition x64
- Microsoft SQL Server 2012 Enterprise Edition x64

注: これらの Microsoft SQL Server バージョンは互換性を確保するための最小レベルです。同じメジャー リリース レベルの後続のサービス パックもサポートされています。

注: 共通コンポーネントは、Microsoft SQL Server 2012 データベース バージョンでサポートされていません。

- Oracle 11g Release 11.1.x x64
- Oracle 11g Release 11.2.x x64

注: CA APM リリース 11.3.4 からマイグレートし、Microsoft SQL Server 2005 がある場合、マイグレートする前に Microsoft SQL Server 2008 にアップグレードしてください。

Web ブラウザ

- Windows プラットフォーム上の Microsoft Internet Explorer 8.0、9.0 および 10.0

注: Windows 8 プラットフォーム上で互換モードを有効にしてデスクトップ モードで Internet Explorer 10.0 を起動します。その他の Windows プラットフォーム上の Internet Explorer 10.0 の場合はデスクトップ モードが必要です。

- Firefox 3 for Open SUSE Linux 11.1
- Firefox 3、19、24 for Windows
- Chrome for Windows

システム要件

製品が正しくインストールされて動作するためには、以下の要件が満たされる必要があります。これらの要件は、80～100人の同時ユーザがいることを想定しています。MDBを正しくインストールして設定するには、データベースサーバのデータファイルディレクトリに4GB以上の空き領域が必要です。

同時ユーザが100人を超える展開アーキテクチャのサポートについては、CAサポート(<http://ca.com/jp/support>)にお問い合わせください。

重要: この製品では、時間が重要なプロセスが使用されています。すべてのサーバがそれぞれのタイムゾーンで正しい日付と時刻に設定されていることを確認してください。

Webサーバ

ハードウェア	要件
プロセッサ	最小：3GHz (デュアルコアプロセッサ)
メモリ	最小：8GB
空きディスク容量	最小：5GB

データベースサーバ

ハードウェア	要件
プロセッサ	最小：3GHz (デュアルコアプロセッサ)
メモリ	最小：8GB

アプリケーションサーバ

ハードウェア	要件
プロセッサ	最小：3GHz (デュアルコアプロセッサ)
メモリ	最小：8GB

追加製品の要件

ハードウェア	要件
空きディスク容量	最小 : 5 GB

追加製品の要件

製品が正しくインストールされて動作するためには、以下の追加製品の要件が満たされる必要があります。

注: 公開の時点では、この製品は、このドキュメントに記載されているシステムおよび動作環境をサポートしています。システムと動作環境の最新のリストは、CA サポート オンラインの [互換性マトリックス](#)で公開されています。

インストールする追加製品

製品	リリース
MDB (SQL Server および Oracle)	1.5 ビルド 1
Java Runtime Environment (JRE)	1.7.0_40 (32 ビット)
Common Asset Viewer	Apache Tomcat 6 上の r11.2 ビルド 1.94
MDAC	2.8
CORA	12.5.0.34
サービス管理用の共通管理 (CASM)	Apache Tomcat 5
BIAR	16
CA SAM	12.9 (バージョン 3.5.5 P3)
Pentaho データ統合 (Kettle)	4.4
マイグレーション ツールキット	1.0.0.555

必要な他の製品

製品	リリース
CA EEM	12.51
CA Business Intelligence Embedded Kit	3.2、3.3、および 3.3 SP1

製品	リリース
CA Process Automation (CA SAM 実装に必要)	4.0 SP1、4.1、および4.1 SP1
Acrobat Reader	5.0 (最小)
JDBC ドライバ	SQL Server 2005 = 2.0.1803.100 SQL Server 2008 = 3.0 Oracle = 11.2.0.1.0
Internet Information Server (IIS)	7.0, 7.5, 8.0 (CA SAM 実装には 7.5 が必要)
Microsoft Jet データベース エンジン	4.0 SP5
Microsoft .NET Framework	4.0
Microsoft .NET の機能	3.5 (Windows Server 2012 の場合)
Windows インストーラ	5.0
Java Development Kit (JDK)	1.7.0_40 (32 ビット)

サポートされるその他の製品および標準

製品	リリース
CA SiteMinder	12.51
CA Client Automation	12.5 SP1
CA CMDB	12.6, 12.7
CA Service Desk Manager	12.5, 12.6, 12.7, 12.9
CA Service Catalog	12.6 SP2、12.7、12.8、および12.9 (リリース 12.9 の認定は一般リリース後に予定)
Section 508 準拠 (レベル 1)	JAWS 13.0
連邦情報処理規格 (FIPS)	PUB 140-2

注: CA Business Intelligence または CA Process Automation インストールを開始する前に、CA Business Intelligence および CA Process Automation 製品 ドキュメント内の要件を確認してください。

CA Technologies 製品統合パッチの要件

CA Client Automation リリース 12.5 を CA APM リリース 12.9 と統合するには、CA Client Automation および最新パッチ (TF9B008 および TF9B004、または同等の発行済みパッチ) を CA サポート オンラインからダウンロードして、インストールします。

第5章: 既知の問題

CA APM のこのリリースの既知の問題を参照するには、以下の手順を実行します。

1. CA サポートオンラインにログインします。
2. CA Asset Portfolio Management 製品サポートページに移動します。
3. [製品ステータス] 領域にスクロールします。

付録 A: アクセシビリティ機能

CA では、すべてのお客様が弊社の製品およびサポート ドキュメントを正しく使用して重要なビジネス業務を遂行できるよう、全力を尽くしています。このセクションでは、CA APM に含まれているアクセシビリティ機能について説明します。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[製品の機能拡張 \(P. 31\)](#)

製品の機能拡張

CA APM では、以下の領域でアクセシビリティが機能拡張されています。

- 表示
- 音声
- キーボード
- マウス

注: 以下の情報は Windows ベースおよび Macintosh ベースのアプリケーションに適用されます。Java アプリケーションは多数のホストオペレーティングシステムで実行されており、これらのシステムの一部にはすでに Java アプリケーションで使用可能な支援テクノロジがあります。これらの既存の支援テクノロジで、JPL で記述されたプログラムへのアクセスを提供するには、ネイティブ環境における支援テクノロジ自体と、Java 仮想マシン (Java VM) 内から使用可能な Java Accessibility サポートとの間のブリッジが必要です。このブリッジは、両端が Java VM とネイティブ オペレーティングシステムであるため、ブリッジ先のプラットフォームごとに若干異なります。Sun では現在、このブリッジの JPL 側と Win32 側の両方を開発しています。

表示

コンピュータ画面の表示を見やすくするには、以下のオプションを調整します。

フォントスタイル、色、およびアイテムのサイズ

フォントの色、サイズ、その他の表示の組み合わせを選択できます。

画面の解像度

ピクセル数を変更して、画面上でオブジェクトを拡大できます。

カーソルの幅および点滅速度

カーソルを見つけやすくしたり、点滅速度を最小化したりできます。

アイコンのサイズ

アイコンを大きくして見やすくしたり、アイコンを小さくして画面のスペースを増やしたりできます。

高コントラストの配色

見やすい色の組み合わせを選択できます。

音声

画像の代わりに音声を使用するか、またはコンピュータ サウンドを聞きやすくしたり区別しやすくしたりするには、以下のオプションを調整します。

ボリューム

コンピュータ サウンドの音量を上げたり下げたりできます。

音声変換

音声で読み上げたコマンド オプションやテキストを聞くことができます。

警告

目に見える警告を表示できます。

通知

アクセシビリティ機能がオンまたはオフになったときに、聴覚的または視覚的な合図を出します。

スキーム

コンピュータのサウンドと特定のシステム イベントを関連付けることができます。

キャプション

スピーチおよびサウンドのキャプションを表示できます。

キーボード

以下のようにキーボードを調節できます。

表示の間隔

キーを押したときにどのくらいの速度で文字を繰り返すかを設定できます。

トーン

特定のキーを押したときに音が鳴るようにできます。

ステイッキー キー

片手または1本の指で入力するユーザは、別のキーボードレイアウトを選択できます。

マウス

以下のオプションを使用して、マウスの動作を速くしたり使いやすくしたりできます。

クリック速度

選択するときのマウスボタンのクリック速度を選択できます。

クリック ロック

マウスボタンを押したままにしなくても強調表示したりドラッグしたりできます。

アクションの入れ替え

マウスの左ボタンで制御される機能と右ボタンで制御される機能を入れ替えることができます。

点滅速度

カーソルの点滅速度を選択したり、点滅させるかどうかを選択したりできます。

ポインタのオプション

以下のタスクを実行できます。

- 入力中のポインタの非表示
- ポインタ位置の表示
- ポインタが画面を移動する速度の設定
- 見やすくするためのポインタのサイズおよび色の選択
- ダイアログボックス内のデフォルト位置へのポインタの移動

キーボードショートカット

以下の表に、CA APM でサポートされているキーボードショートカットを示します。

キーボード	説明
Ctrl + X キー	切り取り
Ctrl + C キー	コピー
Ctrl + K キー	次を検索
Ctrl + F キー	検索置換
Ctrl + V キー	貼り付け
Ctrl + S キー	保存
Ctrl + Shift + S キー	すべて保存
Ctrl + D キー	行の削除
Ctrl + 右方向キー	次の語句
Ctrl + 下方向キー	下にスクロール
End キー	行の終わり

付録 B: サードパーティ製品の使用条件

CA APM が使用するサードパーティ ユーティリティおよびソフトウェア用のライセンス情報は、CA Technologies マニュアル選択メニューの ¥Bookshelf Files¥TPSA フォルダにあります。

CA Technologies マニュアル選択メニューでライセンス情報を表示することができます。 [サードパーティ承認] の横の [テキストを表示] リンクをクリックします。